ドローン使用（様式第１号）

ドローン等の飛行に係る届出書

令和　　　　年　　　　月　　　　日

１　届出者（施設利用申込書記載の申請者の事項を記入する）

　　　　　　氏　名

　　　　　　住　所

　　　　　　電　話

　　　　　　携　帯

　　私は、スポーツ施設等においてドローンを飛行するにあたり、航空法、養父市都市公園条例、全天候運動場設置及び管理条例等関係法令、スポーツ施設等におけるドローン使用に関するガイドラインの内容を遵守して安全に飛行させることを届けます。

　　なお、当該飛行を原因として公園内で事故等が発生した場合は、届出者が一切の責任を負うことを

承諾します。

２　飛行の内容

　①飛行の目的

　②飛行の日時　　令和　　　年　　　月　　　日　　　　　　時　　　分　～　　　時　　　分

　③使用する屋内屋外施設（☑　複数選択可）

□八鹿総合体育館

　　　　　　□人工芝テニスコート・練習コート

　　　　　　□多目的グラウンド

　　　　　　□キャンプ場・ゲートボール場

□ようか温水プール・健康支援施設

□全天候運動場

□全天候運動場芝生広場

□おおやＢ＆Ｇ海洋センター体育館

□おおやスポーツセンター

　　　　　　□その他希望する施設（　　　　　　　　　　　　　　　）

３　ドローンの機体に関する確認事項（　☑　）

□機体の本体、バッテリー、カメラを含め、1機あたりの重量は４kg以下である。

　　　□機体は鋭利な突起物のない構造である。（構造上、必要なものを除く）

　　　□ドローンは、高度、姿勢保持、位置情報、衝突回避等のためのセンサー機能を有している。

□ドローンは、位置及び向きが正確に視認できる灯火又は表示等を有している。

　　　□ドローンは、操縦装置により適切にドローンを制御できる。

４　操縦者の技能等に関する確認事項（　☑　）

　　　□航空法及電波法、養父市都市公園条例等関係法令に関する知識を有し遵守する。

　　　□安全飛行に関する知識を有する。

（飛行の禁止区域・飛行の方法などの飛行ルール、気象に関する知識、取扱説明書に記載された日常点検項目等）

　　　□飛行前に各種確認が行える。

（第三者の立入りの有無・風速風向等の気象等周囲の安全確認等、燃料又はバッテリーの残量確認、通信系統及び推進系統の作動確認）

　　　□GPS等の機能を利用せず、安定した離陸、飛行、着陸ができる。

　　　□飛行中に不具合が発生した際、ドローンを安全に着陸させられるよう適切に操作ができる。

□国土交通省航空局が定める「無人飛行機の講習団体及び管理団体一覧」に記載されている講習団

体等から技能証明を受けた者である。

　　　□ドローン講習会など操作経験が浅い者が操作する場合、上記要件については操作指導者の指示等によって対応できる。

５　安全対策に関する確認事項（　☑　）

　　　□操縦者が体調不良等ではなく正常な状態である。

６　必要な書類を添付（　☑　）

□賠償責任保険等の保険証書の写し

　　　□技能証明等の写し

□（必要に応じて）国土交通大臣の許可・承認書

　　承認が必要な飛行種類（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

令和３年1月